

園芸学科通信

第17号



レイカディア大学・米原校

選抜講座・校外学習
■ 果樹の見学・剪定実習 ■
キウイの剪定実習(午前中の部)
 講師：松原 治夫氏

園芸学科第39期生が受講している前期選抜講座の一環として、校外学習を実施しました。
 実施した日は、平成30年2月13日晴天に恵まれましたが、北風が肌を刺すような寒い日でした。講師をはじめ、作業をする受講生にとっては大変でした。
 今回の講座は、午前と午後で実習先が分かれており、午前中は、以前樹木の剪定などでお世話になったところである大郡甲良町金屋にある「滋賀県立甲良園芸学校」でした。その後、甲良町長寺にある「長寺地域総合センター」と甲良町総合運動場の「甲良町長寺ゆず公園」に場所を移しての校外学習でした。



剪定作業中 (C) ・ 剪定作業後 (C)

午前中の作業は、甲良園芸学校における「キウイ」の剪定実習でした。この場所で行った実習は、昨年夏に行った校舎の周りにある大きな樹木の剪定、年末に実施した校庭にある果樹の剪定、そして今回実施した果樹「キウイ」の剪定と3回目の実習場所です。
 今回は、写真のようにツルが伸び放題の「キウイ」を前に、剪定と整枝作業についての実習でした。キウイは樹勢が旺盛である特徴のフルーツで、放っておくと枝葉が茂りすぎて、日当たりが悪くなったり、風通しも悪くなるので、枯れたり害虫が付いたりすることにります。
 松原講師は「キウイの剪定時期は12月下旬から2月中旬が最適で、垂直に伸びた枝や発育の悪い枝、混みすぎている枝は付け根から切り落とすこと。葉が生

生長した時にすべての葉に光が届くように不要な枝を切り落とすこと。実を付けたらからは芽が出ないので、その先の3〜5芽を残して切り返すこと。今年実が付かなかった枝は、8〜10芽を残して切り返すこと。翌年に実が付くようになること。を説明しながら、実際に幹や枝を手に取り、切る位置や整枝する場所の指導を受けました。
 次に整枝については、主枝から伸びる枝の間隔が40〜50センチになるように間引き、上に伸びないように柵に沿って、細くて枝をきつく絞らない程度で固定して、細く枝葉の緑り返しして、適度の間隔を取り、枝を均等に張り巡らすことが光を取り入れ、風のとおりを良くすることが成長を促すことであることを実感しました。

今回の作業のメインは「キウイ」でしたが、前回に実施した果樹の様子も見ることにしました。特に、ミカンを見てみましたが、剪定後の生育も良く枝葉を伸ばし順調に成長していました。しかし、残念なことに「カイガラムシが枝一面に付く付いておりました。ミカンをばいめ果樹などの管理は、果樹は決して良い美を話さないことを再確認することができます。



選抜講座・校外学習
■ 果樹の見学・剪定実習 ■
ゆずの剪定実習(午後の部)
 講師：松原 治夫氏

午前中の甲良園芸学校での「キウイ」の剪定実習が終了すると、次の研修場所である「長寺地域総合センター」までを自動車で移動しました。ここでは、風食を摂りながら午前中の作業内容を復習し、午後の作業内容の説明を受けた後、休息を取り実習に備えました。



松原講師から「果樹の選定や害虫の駆除の説明」を受ける

午後の実習は、長寺地域総合センターから再び、自動車で分乗し、甲良町運動公園の近くにある「長寺ゆず公園」に場所を移し、柚子の木の見学を行いました。
 現場に到着すると、まず最初にミーティングが行われました。「ゆず」の剪定を行うにあたり「ゆず」といゆ木がどのようなものであるか説明があり、作業する際にはどのような注意が必要なのかの説明がありました。



特に、長く伸びた鋭い枝に気を付けることが重要で、鋭い枝の底を貫通させるので「ゆず」専用の革手袋を履いて作業を行い、伐採した枝は、バラバラにせずそのまま置き放置しないこと等、剪定については葉が密集する部分を切り落とし、日当たりを良くし、風通しを確保するため、余計な部分だけを切り落とし、今後の成長を促進するための作業を行う。十分に成長し、上方に向けて極端に伸びている徒長枝は長さを調整し、樹形を整えて選定すること大切であることでした。
 作業では、果樹の中央から長く伸びた徒長枝が目立っていたので、その枝を切り落とすように指示があり、混みあった枝の切り分けを行い、作業は無事に終了しました。

情報委員会 サポート隊
■ パワーポイント講習会を実施 ■
 講師：山本 哲夫氏
 上野 芳樹氏

2月9日(金曜日)、レイカディア大学米原校第2会議室に於いて、第39期及び40期生を対象とした「パワーポイント講習会」を開催しました。米原校サポート隊の山本哲夫氏、上野芳樹氏を講師に、他のサ



作業終了後、ゆずの木をバックに松原講師を囲んで

編集後記
 平成30年2月の日発行の「第39期園芸学科通信」第17号が、発行されています。今月の選抜講座は、昨年校外学習で行った甲良町にある「甲良園芸学校」での果樹「キウイ」の剪定実習を取り上げました。受講生は、キウイの枝葉が伸び放題、ゆずは長く伸びた鋭い枝に注意しながら実習していました。情報委員会サポート隊が実施している「パワーポイント講習会」に参加する2名という受講生の熱意で、多くの講義の録音や記事を行いました。その成果を、大学での課題学習発表の企画でプレゼンテーションの方法に活用します。さらなる発表方法の向上を目指したいと思います。(佳)



山本講師・上野講師及びサポート隊のアシストによるパワーポイント講習会

講習会の参加者は、39期及び40期生あわせて43名、サポート隊9名の総勢52名。写真のように盛大に始まりました。
 講習会は、午前の部と午後の部に分かれており、午前10時、居原田情報委員長の挨拶から始まりました。山本講師やサポート隊のみなさんの自己紹介も終わり、いよいよ午前の部のスタートです。あらかじめインポートのデータに基づいて、「パワーポイントの世界へ」のデータについて、「文字」の作成、図形・写真の拡大・縮小表示などの基礎編から「写真やイラストの挿入方法、文字と写真を使った編集方法、文字や写真が飛び出す、移動するなど」の実践編を受講しました。講義も終盤になり、実際に操作して与えられた問題に挑戦しクリアした時の安堵感。今後、課題学習などの発表時、①シナリオ作り(企画)、②スライドつくり、③発表の練習、④舞台で発表と行方が、特に今回の講習は、スライド作り段階の勉強を行いました。講師からは、大学祭時の課題学習発表が楽しみとの事、受講生より頑張ろう！

